

学びを求め　生き生きと学び合う　中川っ子をめざして ～歯・口の健康づくりの実践を通して～

秋田県仙北市立中川小学校

6 学級 5 6 名

1 主題設定の理由

本校は秋田県仙北市の北西部に位置し、自然豊かな環境にある。中川地区は、戸数 360 戸余りで、地域の結び付きも強く、地区市民運動会や三省タイム（地域の指導者による手おどり、民謡、わら細工の活動）など地域と一体となった活動も根付いている。

児童は、保育園からずっと一緒に過ごし、学年を問わず一緒に元気に遊ぶ姿が見られる。温かで素直な子どもたちであり、学ぶ意欲や発表意欲も着実に高まってきている。しかし、自由な話合いの場や日常におけるお互いのコミュニケーション手段としての「話す力・聞く力」については、依然として課題となっている。そこで、「学び合い」の充実を研究の重点とし、学び合いの質を保障できるような各教科・特別活動等での単元構成の一層の工夫や、学び合いがスムーズに成立するための「表現力」の向上を図ることにより、「学びを求め、生き生きと学び合う」児童を育てることができるのではないかと考え、本主題を設定した。

学校教育目標「ふるさとに誇りをもち、未来を切り拓きながら、たくましく生きる子どもの育成」を実現するために、「チャレンジ」を合い言葉に、全教職員が一丸となって研究・実践に取り組み、「自ら学びを求め」、「生き生きと学び合い」ながら、たくましく生きる「中川っ子の育成」を目指して、様々な面からアプローチを試みてきた。

また、平成 21 年度より「生活習慣病予防等を目指した歯・口の健康づくり調査研究事業」推進学校の指定を受け、研究実践に取り組む機会にも恵まれた。自らの健康の問題を自ら見付け、自分で判断して健康づくりに取り組む能力や態度を育てることは、正に本校の研究主題と合致するものであり、家庭・地域・関係機関との連携を大切にしながら全校体制で取り組んでいる。

2 実施した主な活動

(1) 年間指導計画の作成

系統的・段階的な学習指導を目指し、年間指導計画を作成した。学級活動において歯・口の健康に関する題材を扱える時間は限られており、他教科はもちろん、日常活動との関連や家庭・地域・関係機関との連携、学年目標に合わせて指導内容を焦点化するために効果的であった。

(2) 教科等における取組

①児童の実態・興味関心に即した多様な資料の開発

(実践 1)

学校歯科医の協力により、4 年生全員の歯型の模型を作製。一人一人が自分の歯型の模型を使って考えることにより、自分の歯並びなどの口の中の様子を知り、自分に合った歯みがきの仕方を工夫することができた。

年	月	学年	指導内容	ねらい	指導方法・手段	評価方法	留意点
4	9	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
5	10	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
6	11	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
7	12	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
8	1	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
9	2	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
10	3	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
11	4	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
12	5	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
13	6	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
14	7	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
15	8	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
16	9	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
17	10	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
18	11	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
19	12	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
20	1	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
21	2	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
22	3	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
23	4	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
24	5	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
25	6	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
26	7	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
27	8	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
28	9	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
29	10	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
30	11	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業
31	12	4 年	「お口の健康」の学習	「お口の健康」について学習し、歯と口の健康づくりの重要性を理解する。	授業	授業	授業

(実践 2)

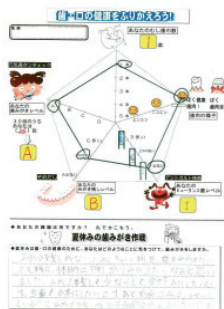
自分の歯・口の健康データをレーダーチャートに表し、夏休みの歯みがきのめあてを考えさせた。自分の状態を視覚的にとらえることができ、実践意欲も高まった。

(実践 3)

素材などを工夫して大きな歯型の模型を作成し、第一大臼歯の学習に活用した。実際に見て、触れることにより、その位置や特徴（背が低く、弱いなど）に気付くことができた。



(実践 1)



(実践 2)



(実践 3)

②課題意識を高めるインパクトのある提示の工夫

(実践 4)

「水」と「酢」に長時間漬けた卵を準備し、殻の状態を観察する活動を取り入れた。子どもたちは、酢に漬けておいた方の卵の殻は柔らかくなり、すぐに破れるという様子に驚き、歯は酸に弱いということを実感することができた。



(実践 5)

「噛むカムチェックガム」(8020推進財団)を使い、普段噛んでいる回数、30回、60回と3段階の噛み具合をチェックした。混ざり具合を色でチェックし、視覚に訴える活動となり、咀嚼^{そしやく}へ関心をもたせる意味でもたいへん有効であった。



(実践 6)

デンタルフロスを使って歯垢^{こう}を取り出す活動を取り入れた。歯みがきだけではとれにくい歯と歯の間の歯垢^{こう}もとれ、子どもたちの課題意識を高めることができた。



(実践 7)

「第一大臼^{きゅう}歯のみがき方」の学習では、食べた後の口の中の状態を視覚化するために、黒いクッキーを食べさせた。歯の汚れは簡単にはとれないことを実感し、効果的なみがき方について真剣に考えることができた。

③集団思考を生かした個人目標の自己決定

学習カードを工夫し、グループで考えを出し合った後や全体で課題について話し合った後に、自分のめあてをカードに記入させるようにした。

(2) 日常の保健活動における取組

① 歯みがきスキルの定着をめざして

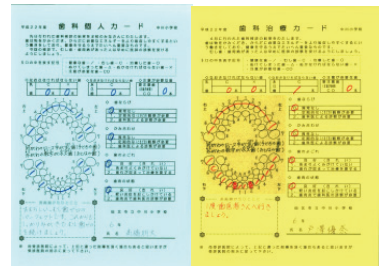
【全校歯みがきタイム】

児童のナレーションによる歯みがきＣＤを作成し、昼の全校歯みがきタイム（給食後５分間）で活用している。みがき残しを減らし、歯みがきの仕方をきちんと身に付けさせるために、歯みがきの仕方も統一している。歯みがきタイム後に、定期的にしっかきみがけているかをチェックしたり、染め出しをしたりして、みがき残しゼロをめざしている。



【年２回の歯科健診と歯科治療カードの工夫】

学校歯科医の協力により、年２回の歯科健診を実施。むし歯なしの子どもには水色、治療が必要な子どもには黄色の治療カードを用い、歯式を使って、検診結果を視覚的に知らせて治療を促している。



② 実践意欲や意識を高めるために

【「わっはっ歯ファイル」の活用】

児童全員が「わっはっ歯ファイル」を持ち、学習シートや歯みがきカレンダーなどをファイルし、自己の成長の証の蓄積として活用している。



【デントカルト検査】

全校児童を対象に「デントカルト検査」を実施。自分の口中のミュータンス菌の状態を知り、歯みがきの大切さを再認識することができた。

【わっはっ歯集会】

保健委員会を中心に、「歯みがきＣＤ」を紹介して歯みがきの仕方を確かめ合ったり、歯の健康に関する寸劇を発表したり、クイズや「わっはっ歯カルタ」をしたりして、楽しみながら歯の健康についての理解を深めることができた。



【わっはっ歯ロード】

音楽室前から体育館へ向かう廊下を「わっはっ歯ロード」とし、これまでの取組の足跡を掲示したり、歯の健康に関する情報を発信するようにしている。

(3) 家庭・地域・関係機関との連携に関する取組

① 家庭との連携をめざして

【「わっはっ歯」、「城南通信」の発行】

通常の保健便りの他に、歯と口の健康に関する保健便り「わっはっ歯」や学校歯科医便り「城南通信」を発行し、家庭への情報の発信に努めている。

【「歯みがきカレンダー」、「元気満タンチェックカード」の活用】

歯みがきの習慣の形成・継続のための「歯みがきカレンダー」や生活習慣づくり

のための「元気満タンチェックカード」を活用し、がんばりのめあてを具体的に示し、学校と家庭が同じ意識を持って取り組むようにしている。

【PTA参観日による啓発】

PTA参観日の際に、歯・口の健康づくりに関する参観授業を実施したり、学校歯科医による講演会や歯科衛生士による歯みがき指導、親子染め出し体験などを実施し、啓発に努めている。



【親子での歯みがき標語づくり】

児童会からの呼びかけで、夏休みの全校の課題として取り組んでいる。作品は、校内に展示し、学習発表会の際に表彰している。

②地域・関係機関との連携をめざして

【歯みがきポスターの配布】

縦割りグループごとに子どもたちが市内の保育園、小学校、中学校、高校、その他公共機関等を訪問し、自分たちがつくった歯みがきのポスターを直接手渡し、掲示をお願いしている。

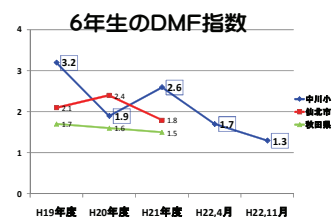


【学校保健委員会】

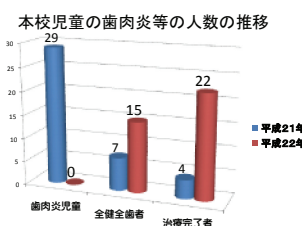
学校歯科医、仙北市保健師、保育園長、PTA会長・副会長にお出でいただき、本校の歯・口の健康づくりについての取組や今後の連携等について協議した。

3 成果と課題

○6年生のDMF指数が3.2本（平成19年度）から1.3本（平成22年11月）となり、「12歳児のDMF指数を2.0本以下に！」を達成することができた。また、歯肉炎の児童が大きく減少し、口腔環境の改善がみられた。全健全歯者も増加し、治療完了者も大きく増加した。歯の健康に関する保護者の意識が高まってきている。



○本校の課題であった就寝時間がアンケートを繰り返すたびに早い時間にピークが移動した。また、朝食の摂取率も、96.4%となり、生活習慣の改善も図ることができた。



○自分自身の健康に関する意識が着実に高まってきた。日常生活や社会とのつながりを重視したことで、その学びが単なる知識にとどまらず、日常生活の場でも健康を意識し、歯・口の健康づくりのために自分自身で実践しようとする力が付いてきた。

●これまでの取組を土台として、子どもたちが生涯にわたって自ら学びを求め、生き生きと学び合う力、そして、未来を切り拓きながらたくましく生きる力を身に付けさせるために、更に研究・実践に取り組んでいきたい。

●これまでに築き上げてきた家庭・地域・関係機関との連携を、「歯・口に関する健康づくり」だけでなく学校の教育活動全体に広げ、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育てる取組を更に推進していきたい。